
JAPAN CONGRESS ON EVANGELISM

第七回日本伝道会議(JCE7) ワークシート

日時:2023年9月19日(火)~22日(金)



9月19日(1日目) メインセッション1 「日本の宣教の現状」 聖書講演

マタイの福音書9章35節～10章1節

「さあ、ここからもう一度」 山本陽一郎

●はじめに

●主イエスの働きとその継承

・ガリラヤでの主イエスの働き

・教会の働きとは

●主が選んでくださった

・この時代に遣わしてくださった

・いっしょにやろう

●収穫の主に祈ろう

・人々に関心を持つ

・祈れと主は言われる

・主に遣わされているからこそ

●おわりに

～Memo～

・グローバル化

・（順番を入れ替えて）3章「海外日本語教会・集会」の紹介

・2章「増える在留外国人と在日外国語教会との宣教協力」の紹介

「次世代育成」 中西健彦

I. 次世代育成の現状

- ・次世代：現役世代から次にバトンを受け取る人々
- ・JEA アンケート（2018）による年齢構成
- ・教職者の次世代育成

II. 次世代育成の実践

①礼拝

②交わり

③教育

④祈り

I. 地方の動向と宣教の難しさ

- ・ 地方=ある一部ではなく、今問題の中にある一帯を指す。実際に人は流出し、歯止めがきかない。それは教会においても同様である。
- ・ 東北地方の教会での現状を聞いた際のアンケート結果を踏まえて。牧師が教え、信徒が受け取るというスタイルには限界が見えてきている。

II. 新たな地方宣教の働き

- ・ 各地方教会は人的交流を求めている
- ・ 地方で取り組むべき事がある。問題が多いからこそ、教会がやれることがある。置かれた所において、人的交流をも用いて、今何ができるだろうか。

応答：野田沢

日本基督教教団とは？

応答とチャレンジ

◇グローバル化：

◇次世代育成：

◇地方宣教：

9月20日(2日目) メインセッション2「宣教のゴール→「おわり」」 聖書講演

使徒2章1～21節、黙示録7章9～10節

「聖霊は教会を不快な交わりにする」 塚本良樹

・聖書

ペンテコステの日に起こった奇跡の意味

実際に、境界を越えていく聖霊

使徒の働きに描かれるトラブル

・証し

「一般論」として自分と異なる人々とともにいることによる不快感がある

「地域教会」において自分と同じ人とともにいる意味

「公同教会」における多様性から学ばされたこと

・招き

神は、知恵と愛を与える

神は、危機を用いる

神は、「おわり」に成し遂げてくださる

～Memo～

9月20日(2日目) メインセッション2「宣教のゴール→「おわり」」 パネルディスカッション
「北米での日本語ミニストリー:概要と中西部・南部での事例紹介」 佐藤岩雄

ルイビル日本語教会と近隣都市での働きについて

1. 信徒のリーダーシップ
2. 多地域を結ぶ多言語の信仰コミュニティの形成(テクノロジーの活用)
3. 複数の日本語教会・日本語ミニストリーの協力

「在日ベトナム語教会について」 グェン・ティ・クィ・ナ

1. ベトナムの基本情報
 - ・在日ベトナム人について
2. ベトナム語教会について
 - ・教会の創立
 - ・専任牧師
 - ・毎月の礼拝について
 - ・教会のメンバーの情報
3. お祈りの課題
 - ・奉仕人材不足について
 - ・礼拝堂の問題について
 - ・今後の教会のビジョンについて

「教団を超えた教会間協力～二つの教団・教会の協力により、一つの教会を建て上げる～」 野尻道人

1. 教団の移転 ～所属教団を出て、新しい教団に加入する～
2. 新会堂の建設 ～二つの教会で、一つの会堂を建てる～
3. 意義と課題 ～違いを理解に～
4. 今後同じようなケースが行われる際に ～時間をかける～

「災害国における新しい宣教協力の波と課題」 諸藤栄一

1. 日本は災害大国である。そして霊的痛みを抱えた国という課題
2. 教会と地域、教会間の乖離という課題
3. 熊本地震を通して取り除かれた教団・教派の壁 / 友情から始まった支援活動
4. “友情から始まる宣教協力” という新しい波 / 日本から世界へ

SGT ガイド

I. メイン会場参加の方々

- ① 基本的に3人がユニットです。同じことに興味と関心を持つ方が一緒になっています。20日(水)のAGTの希望が、グループ分けの基礎データとなっています。それが、食事の時には都ホテルでは9人のグループになり、国際会議場では6人のグループとなります。
- ② 20日(水)に都ホテルで食事を取るグループは、21日(木)は国際会議場の各部屋で食事を取ります。逆に、20日(水)に国際会議場で食事を取るグループは、21日(木)は都ホテルでの食事となります。都ホテルでは、席に着かれた後に、ホテルの担当者が食事を持って来て下さいます。国際会議場では、各部屋の所定の場所に弁当が置かれていますので、それをご自分でお取り下さい。SGT後、食べ終わった弁当箱を始めに置いてあった場所に戻して下さい。また、次のAGTのために、ボランティアの指示に従って、机と椅子を元に戻すことにご協力下さい。
- ③ 2日目20日(水)の食事の前に、自己紹介をして下さい。そして食事です。メンバーが全員そろそろまで食事を食べ始めるのを待たなくても構いません。食事を楽しんで下さい。都ホテルでのメニューはホテル名物のカレーです。国際会議場でのメニューは味噌カツです。
- ④ 食後、午前のセッションから教えられたり、考えたりしたことを「分かち合いのための問い」を通して分かち合い、深める時として下さい。
- ⑤ 分かち合いのリードは、一番東に住んでいる方をお願いします。
- ⑥ すべての問いを話し合う必要はありません。分かち合いが深まったら、その問いの質問に終始しても構いません。
- ⑦ 終了時間前に、分かち合いを終えても構いません。しかし、次のAGTがありますので、終了時間は守って下さい。
- ⑧ 最後に祈りをもってSGTを終えて下さい。分かち合いの内容等の報告は不要です。

II. オンライン参加者の方々

- ① 個人でのオンライン参加者のグループ分けは、Zoomによって自動的に行われています。基本的に4人がユニットです。20日(水)と21日(木)とではグループのメンバーは異なります。教会で参加された方は、教会内でSGTを持って下さい。
- ② 最初に自己紹介をして、午前のセッションから教えられたり、考えたことを「分かち合いのための問い」を通して、分かち合い、深める時として下さい。
- ③ 分かち合いのリードは一番東に住んでいる方をお願いします。
- ④ すべての問いを話し合う必要はありません。分かち合いが深まったら、その問いの質問に終始しても構いません。
- ⑤ 終了時間前に、分かち合いを終えても構いません。しかし、次のAGTがありますので、終了時間は守って下さい。
- ⑥ 最後に祈りをもってSGTを終えて下さい。分かち合いの内容等の報告は不要です。
- ⑦ 異端対策は十分に行っていますが、もしグループの中で発言が変だなと思われる方の存在に気づいた場合、メインルームにお戻り下さい。後で事務局の方にご連絡いただければ感謝です。

9月20日(2日目) SGT「分かち合いのための問い」

- ① 気づき：昨日のセッションと今日のセッションで、あなたの心に印象深く残ったことは何ですか

- ② 現状：ここ数年のコロナ禍であなたや教会が経験してきたことと、2日間のセッションで語られたこととのつながりや共通点はどんなことでしょうか

- ③ ゴール：聖書が教えるゴールに照らして、あなたが今乗り越えるべき課題はどのようなものでしょうか

・導入

・パートナーシップへの道

a. 信頼

b. コミュニケーション

c. 献身

d. 交わり

e. 化学反応

・お奨め

「若宮わくわく食堂」高橋愛一郎

1. 地域に仕える宣教

- ① ローザンヌ誓約に見る二つの視点～伝道と社会的責任～
- ② 準備と啓蒙～地域貢献活動は伝道となりうるか～
- ③ それぞれの地域でできることを～子ども食堂でなくても良い～
- ④ すそ野を広げる働き～これまで全く教会に来なかった人を～

2. みことば

マタイ 25章 40節

「最も小さい者たちの一人にしたことはわたしにしたのです。」

「BRIDGE - IT と福音の架け橋に -」 中村恵久

- ▷コロナ禍における働き クリスマン向けコロナ対策サイトを開設
- ▷さまざまなイベントを主催 IT 企業などで働くクリスマン向けのカンファレンスを開催
- ▷ワークシェアによるキリスト教団体への支援 ディレクターやデザイナーなどを紹介
- ▷現在、CALM で開発中のアプリについて 賛美アプリ・証の文章作成支援
- ▷一緒に働けるワークスペースを準備中 実際に一緒に働けるシェアスペースを企画中。
- ▷AI 時代の到来、これから、起こること
テクノロジーはバベルの塔にも、グーデンベルクの印刷技術にもなり得る。
- ▷文章、画像生成 AI について 話題の生成 AI について
- ▷検証中のツールに関して 不用意に恐れず、過度に期待しすぎず。学び距離感を持つこと

「日本の津々浦々に主の福音が満ちるために 教会が増殖していくことを願う宣教協力」 播義也 宣教の終わり マタイの福音書 24 章 14 節

震災を通して語られたこと 東日本大震災、熊本地震で見せられた、未伝地の町々村々。

日本は巨大な世界の未伝部族である。

教会が癒されるために、道をまっすぐにする

各地での平安の子探しの取り組み ネットワークによる宣教協力

平安の子探し データ

神のビジョン ハバクク 2 : 1 4



JCE7 ▷ JCE8 カバレッジプロジェクト

平安の子探しについて カバレッジプロジェクトサイト

一緒に出ていきましょう 世界第 2 の巨大な未伝部族が REACHE するには、人口の 2%に達すること、そのためには 50 人の教会が 5 万教会必要です。日本には 1724(平成の大合併前だと 3500)の市町村が存在しており、約 1/3 の市町村に教会はありません。しかもその数は増加しています。

■無意識の偏見

- ・しがないキリスト?
- ・福音書の序文とのギャップ...
- ・キリストの奇行?

ヨハ4:9, 4:11-12a

■キリストの姿と教えから考える「終わり」

4章の結末に見る「栄光」

ヨハ4:39-42

キリストの自由さと私たちの感覚の隔たり

- ・偏狭なキリスト像の終わり

昨今、キリスト者が世の価値観に侵食され、社会の周縁よりも中心に立とうとする現象が透けて見える。…しかし、救い主の誕生が真っ先に伝達されたのは、当時最も卑しい仕事と差別され、社会の周縁に追いやられていた羊飼いたちであった。主イエスは、人々から「罪人」とみなされ、嫌われ、疎外されていた人々と食事をし、愛の御手で包み込んだ。

ヨハ7:3-4

- ・従来 of 礼拝の終わり

ヨハ4:21-24

教会が直面している困難も多面的かつ深刻です。多くの教会で高齢化が進み、献身者の減少が顕著です。兼牧や無牧の教会が増え、教会の合併や閉鎖、奉仕者の燃え尽きが止みません。…主よ、私たちが遣わされているこの時代の現実から目を背けることなく、聖霊なる神に探られ、教えられて、悔い改めと主への信頼に生きることができるよう助けてください。

- ・一つになることを妨げるものの終わり

ヨハ17:20-23

～Memo～

9月21日(3日目) SGT「分かち合いのための問い」

- ① 気づき：今日のセッションで、あなたの心に印象深く残ったことは何ですか

- ② おわり：現状から「おわり」に向かって、どのようなことをおわらせ、始めることが必要だと思いますか

- ③ はじめる：ここからあなたは具体的にまず何をはじめますか。共にどのようなことを祈り合えばよいと思いますか

~Memo~

教職と信徒： ①信徒教育と信徒の派遣	カバレッジプロジェクト ～日本の津々浦々に福音を満たしていくため、教会未設置市町村を明確にしたマッピングプロジェクト～
	教団教派の新パートナー、開拓者アセスメント&開拓支援センター
	全国「聖徒聖書学校連盟」の創設と推進
教職と信徒： ②リーダーシップの再創造	神学校交流促進
	福音派の新しい宣教協力の枠組みへの提案
	ディアスポラ宣教協力(推進)プロジェクト～日本の教会が在日外国語宣教と在外邦人宣教において協力を深めるために～
	平和研究会情報開示プロジェクト
地域に光る教会の創造	S&L ネットワーク ～信徒による東海4県宣教協力プラットフォーム～
	日本社会と宣教 ～分断化する社会に御国をもたらす共同体形成の模索～
地球環境と人類の未来創造	宣教協力の未来開拓 ～聖書文脈探訪～
	次世代育成検討プロジェクト ～現状の調査分析と世代循環実現に向けた提言～
	ITを活用した日本宣教のこれから
	ファミリーミニストリー ～家庭における神のかたちの回復と育成～
	環境プロジェクト～被造物ケアの使命に生きる～

9月22日(4日目)セッション4「「おわり」から「はじめる」私たちの祈り」
「おわり」から「はじめる」私たちの祈り 解説 近藤愛哉、青木義紀

1. 「宣言文」ではなく、なぜ「祈り」なのか？

(1) 草の根的な声を反映

(2) 「宣言文作成委員会」と「作業部会」

(3) 「宣言」ではなく「祈り」に

2. この「祈り」を編むにあたり、心掛けたことは？

(1) 三つの視点(過去・現在・未来)

(2) 包括的であること・祈りの視野を広げること

(3) 具体的な行動へとつながっていく「祈り」

(4) 解説文

3. この「祈り」に期待すること

(1) 祈り続けること

(2) 実を結ぶ「祈り」となること

(3) プロジェクトの始動

9月22日(4日目)セッション4「「おわり」から「はじめる」私たちの祈り」 聖書講演

マタイの福音書14章13～21節

「神の御旨への献身」 小山 健

1. 私達もキリストと「あわれみの心」を共にする (マタイ 14:13～14)
2. 主は私たちを用いて御業を成して下さる (マタイ 14:15～16、詩篇 133:1、3)
3. 主に私達自身を捧げる時、私達は主の栄光を見る (マタイ 14:17～21、ヨハネ 12:24、イザヤ 43:19)

~Memo~

□ 宣教協力プラットフォームのご案内



このたびは、JCE7にご参加いただきまことにありがとうございます。皆様と共に過ごしました4日間の伝道会議の恵みを心より感謝申し上げます。

さて、JCE7のプログラムはいかがでしたでしょうか。多くの収穫があったと信じておりますが、JCE7プログラム局では、大会での多くの恵みが9月19～22日の四日間のプログラムで終わらず、さらに発展と深まりを持つことができることを願い、「宣教協力プラットフォーム」を準備いたしましたので、ご案内いたします。

まずこのプラットフォームによって、JCE7よりスタートする15のプロジェクトをフォローアップすることができます。皆様は、すでに大会中のAGTにてその概要を知ることができたかと思われませんが、各プロジェクトは本大会よりスタートし、3年間1期（最大2期）で一つの成果を生み出す努力をしております。

これらの進捗は、これまでどおり、JEAが開催する年に一度の宣教フォーラムでも知ることができますが、さらにJCE7より「宣教協力プラットフォーム」のシステムを導入、いつでも、どこでも、プログラムの進捗がフォローアップできるようになりました。また継続して、プロジェクトに種々の形で関与できる仕組みになっています。

また、このプラットフォームには、AGTに設けられました、種々のテーマに相当するオンラインコミュニティが用意されています。本サイトは、伝道会議参加者が全員登録されるクローズドコミュニティで、各コミュニティでの交流が継続、促進できるようになっております。ぜひ各コミュニティのテーマを深め、皆様の地域での実践につながる実りある機会としてください。宣教協力プラットフォームを積極的にご活用していただき、これからの日本の宣教を皆様と共に進めていくことができればと願わされております。

なお「宣教協力プラットフォーム」にアクセスできるアドレスは以下のとおりですが、さらに、ログインに必要なIDとパスワードは後日直接、本大会に登録のメールアドレスにお知らせいたします。ID、パスワードでログインをされましたら、ぜひご自分が参加されましたAGTのプロジェクト、また分科会のコミュニティにお名前を登録してください。また興味があるコミュニティがあれば、さらに追加登録も可能です。

何かご不明の点がございましたら、遠慮なく、下記サイト管理者までご連絡をいただけますと感謝です。以上よろしくお願いたします。

□ 宣教協力プラットフォームアドレス：<https://jcenet.org/teamjce/>



□ サイト管理者：jce7prokanri@gmail.com

□ JEA 宣教委員会宣教研究部門 IT 担当（佐々木宏光、福井誠）

～Memo～

～Memo～